

## 資料

# 合志市工業用水道事業の紹介

### ○事業の主旨

合志市工業用水道事業は、平成8年度から熊本県により合志市（旧合志町）と菊陽町にまたがって整備された内陸型工業団地セミコンテクノパーク（当時：第2テクノパーク）内のインフラ整備として、計画水量2,300m<sup>3</sup>/日で建設されました。

### ○事業の経緯

合志市の工業用水道事業は、熊本テクノポリス圏内であって、合志市（旧合志町）と菊陽町にまたがって熊本県の事業主体で平成8年度から造成の始まったセミコンテクノパーク（当時：第2テクノパーク）内のインフラ整備として、工業用水道の建設も平成8年度から始まり、平成10年4月に一部給水を開始し、平成12年4月より給水区域全域への給水を開始しました。

また、平成18年度に造成されたセミコンテクノパークに隣接する原水工業団地へも給水を拡大しました。

なお、合志市は、合志町と西合志町の2町が合併して、平成18年2月27日に誕生しました。

### ○需要者の概要

（平成20年11月現在）

業種	給水件数	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)
電子	1	1,300
機械	2	421
化学	1	190
金属	1	160
ゴム	1	15
合計	6	2,086

### ○工業用水道施設の概要

合志市の工業用水道は、計画水量2,300m<sup>3</sup>/日、水源は、地下水（深井戸）を利用し、配水池400m<sup>3</sup>、高架水槽110m<sup>3</sup>を設置しています。取水ポンプにて配水池へ揚水し、更に、配水池より送水ポンプにて高架水槽に送水し、高架水槽より自然流下で配水しています。

配水本管は、φ150～200mmで、総延長は、約5kmとなっています。

### ○事業の特徴

- ・合志市は、県都熊本市の北東部に位置し、熊本都市圏内にあります。北部地域には広大な農地が広がり、県内有数の穀倉地帯となっています。住宅地と商業地は、以前から国道・県道や熊本電鉄沿線に形成され、熊本市に隣接した南西部一帯に新市街地を形成しています。
- ・合志市工業用水道の水源は、阿蘇外輪山の西に連なる台地で涵養された良質な地下水を深井戸で取水しているため、濁水等の影響を受けにくく、安定した供給ができます。また、合志市が工業用水を給水するセミコンテクノパークは、熊本空港や九州自動車道熊本ICにも近く、東京エレクトロン九州(株)やソニーセミコンダクタ九州(株)をはじめ、数多くの半導体関連企業が立地し、工業団地内に熊本県立技術短期大学校もあり、優秀な人材を輩出しています。
- ・熊本県は、九州の中心地に位置し、熊本を拠点として、国内はもとよりアジアを中心として世界へ向けたビジネス展開が可能です。また、平成23年春の九州新幹線の全通により大阪まで約3時間、福岡まで35分で結ばれます。

### ○合志市ホームページアドレス

<http://www.city.koshi.lg.jp/>

### ○給水区域図

